

あなたの声をお聞かせください。身近な出来事や町に関する要望・意見など何でも結構です。投稿いただいた中から広報はがへ掲載させていただきます。その際の添削については、ご了承ください。

Multiple horizontal lines for writing responses.

イラストも募集しています。広報はがのカットとして掲載させていただきますので、濃くはっきりとお書きください。

Large empty box for drawing illustrations.



●宗山公園からお願い

町民の皆さんから親しまれている宗山公園(唐桶の溜)にはたくさんの方が訪れ、池のほとりを散歩する姿が数多く見られます。

春には青く芽吹いた芝生の上で、夏は湖水より吹く風は心地よく、涼しさを求めて昼休みには駐車場がいつぱいになるほどです。その芝生の中へ「乗入禁止」の看板を無視し、プロックを乗り越えてまで自動車が進出し、無惨にも踏み荒らさるごとの度々あります。この公園を管理しています(シルバー人材センターで働いている)が悲しくなります。その都度補修作業をしていると、公園を訪れた方からも残念だと声をかけられます。このような自分勝手な行動は止めてください。皆さんの

公園なのでから大切に利用しましょう。お願いします。○環境対策施設管理係

☎028(67)6017

公園は町民皆さんの財産です。気持ちよく利用できるようにしましょう。なお、問題がある行為を見かけた場合は、担当までご連絡ください。

●男女共同参画社会へ向けて

稲毛田 かんじやていくさん 3月5日、町民会館で行われた生涯学習講演会で弁護士住田裕子さんの話を聞くことができました。テレビでもおなじみなのか会場は大盛況、離婚、少子化、少年の犯罪増加などを熱心に話されました。規範意識の低下、共感性がない、自己中心的、尊敬されない環境など具体的に説明がありました。中でも最大の関心を持って「ミニユケーション」や規範として家庭教育が不足している。「人の痛みを自分の痛みとして感じる心(精神)がなくなっているのではないかと。」

教育とはを考えると「知識」ではなく「相手の痛みがわかる」ことが不足している。「三つ子のたましい百までも」の言葉は今も昔も変わらない。

そこで大切なことは、「父、母はお互いに尊敬をする」「そして「愛し合う」「信頼する」を！子どものお手本にならなくてはいけない。また、子どものときからよいことはほめる。悪いことは指導する。メリハリを持って教育することだ。うこの話でした。

もう少いで、ベビーブームで生まれた人が会社を定年する。その人たちが男女共同参画へ向け、今までの経験を生かし社会へ貢献する。どんな子どもの中に入れて行く。いいこと、悪いことを教えてやる。一方では高齢者へのいたわりある指導をしていかねばならない。私たち大人は常に思いやりといわりの心を育てて行くためには地域全体で行動することが不可欠の時代が来たことに強く認識と責任を感じました。



▲下高根沢 高松イクさん

食育 食べて元気!

親子でジャガイモを給食に

「春休みの親子体験、学校給食にジャガイモを出そう。5kgから出荷できます」これは、循環システム研究会が提案した春休み企画です。休日に親子で気軽に農業体験をし、ジャガイモの生育を見守り、収穫して家庭で食べる。たくさん収穫できたら少量でもいいから、学校給食に出荷してみませんか?という企画です。

「今日の給食のジャガイモは、〇〇さん親子が作ったジャガイモです」なんて、学校で生徒に知らせてくれたら、きっと楽しいだろうな~と思います。

たとえどんな時代でも、子どもは町の宝であり、子どもたちの健やかな成長と健康を願うのは当たり前のことです。芳賀町の学校給食は、食育や子どもたちの健やかな成長と健康を大切に思う農家のポ

ランティア精神によって進められています。

地産地消の学校給食で、元気に育てほしいものです。

食べものは単なる物ではありません。全ての食べ物には命があります。「食べ物を粗末にははいけません」とは、『命を粗末にははいけません』ということでもあります。食べ物の命、ましてや人の命。その命の尊さを農業体験を通して感じていただけたら幸いです。地域全体で食育を推進する、その環境整備の一つとしてドンカメも努力し推進していく所存です。

(有)ドンカメ 小久保行雄



●学校教育課学校教育係 ☎028(677)6024